


kokoiko
第13号
2020.7.1

来て 見て 使って つながって！

koko  iko
コ コ イ コ

6つの点から 広げる世界



～点字はヨコ2xタテ3の6点のみで、文字や数字を表現します～

「何か」を始めたいな……と思っていた時、偶然に市報で見かけた点字講習会のお知らせ。「点訳ボランティアてまり」のメンバーは、そんな何気ないきっかけから点訳を始めた人が多いそうです。知らなかったことを知る喜び。地域に住む視覚障がい者や、同じ目的を持つ仲間たちとのつながり。6つの点から広がるのは、どんな世界でしょうか。

contents

- 6つの点から広げる世界
- column 変化するもの しないもの
- プラッツ登録団体紹介
- プラッツつながりカレンダー
- プラッツよもやま情報

6つの点から 広げる世界

点訳ボランティアてまり



「忠実で正確な」点訳のために

「点訳する(点字に置き換える)」ということは、点字独特のルールに習熟していることとあわせ、国語力の高さも必要です。知っているつもりの漢字の読み方や、わかっているつもりの文章の意味……。それではだめで、しっかりと理解しなければ点訳できません。そのためには下調べも重要なので、机の上はいつもパソコンや辞書、点訳資料に占領されています。自分では読まないであろうジャンルの書籍や資料に触れると、新しい世界を覗くような楽しさがありますね。



パソコン点訳とあわせ、手打ちの点字器を使用することも。手打ちの1点1点に人柄が出ます。



点字プリンターで印刷中。



一冊の文庫本も、点訳すると大きなファイル3冊分に。

意見を出し合う、互いに聞き合う

ひとつの点訳物につき、点訳者1名と校正者3名を決めます。点訳者が悩んだ時は校正者に相談したり、毎週行っている定例会でメンバーみんなで話し合うこともあります。コロナウイルス感染拡大防止のため、3月から定例会をお休みしていました。普段から点訳そのものは自宅で行いますし、連絡はメールで取り合うので作業には影響ありません。しかし疑問がある時などは、やはり顔を合わせてあれやこれやと話し合う定例会の大切さを痛感しました。自分だけの考えにとらわれずに、意見を出し合ってお互いを尊重しながら結論にたどり着けることが、グループでやる良さだと思います。普段は程よい距離感で接することができ、悩んだり迷ったりした時はいつでも相談できる安心感。それがあってこそ、続けていけるのだと思います。

ひとりに、喜んでもらうために

私たちがのような小規模のボランティアグループには、視覚障がい者ご本人が希望する、個人的で身近なものの点訳も求められていると思います。新刊や雑誌、地域のイベントに関するお知らせなどもできるだけ早く届けたいのですが、点訳→校正、という手順が必要なので時間がかかるのが実情です。以前、どうしても来週までに点訳してほしい……というご依頼を受けたことがあります。いつも通りのやり方では間に合わないで、点訳箇所をいくつかに分け、それぞれ分担して点訳と校正をし、最後にひとつにまとめて完成させました。

kokoiko column

それらと視覚障がい者がつながる手段として、点字や音声ガイドがあります。コミュニケーションの方法は変化します。社会的距離を保つことが求められ、そばに寄って話すことを控えなくてはならない今、インターネットを使った交流が工夫されています。しかしもちろん、それ以外にも方法はあるはず。

デジタルもアナログも両方の良いところを大切にしながら、心の距離を近づけるためにできること。そのヒントは社会のあちこちに隠れています。

「ひとりでは無理なことも、みんなで力を合わせればできる!」という当たり前の幸せを、あらためて感じました。点字本を読んだ感想をいただくことも嬉しそうですね。届いたんだな、と実感します。

点字だから、伝えられること

文字を読んでいると、想像が膨らみますよね。情景を思い浮かべながら小説を読む、私はそれが好きでした。点字でも目と指先という違いはあっても同じではないでしょうか。

また、演奏会のパンフレットを点訳した際に、依頼者から「演奏を聴きながら、暗い会場でも点字プログラムを読むことができる。これって私たちの特権ね!」と言われたことがあります。

点字は言葉を正確に読み取ることができ、何度も読み返すことができます。私たち晴眼者が文字を大切に思うのと同じように、点字は使用者にとって大切なものなのだと思います。

コツコツと、続ける

さまざまなイベントや市内小学校などで、点字体験を行っています。点字に興味を持ってもらえれば、その大切さを理解し、まちのあちこちにある点字表記も大事にしていだけるのではと思うからです。点字は6点できています。そのうち1点でもへこんだり、傷がつくと意味が伝わらないのです。

「てまり」の活動は地味ですが、コツコツと長く続けることで、メンバー、視覚障がい者、地域の皆さんとつながりが広がり、誰もが住みやすい世界への扉が少しでも開くといいな、と思います。



点訳ボランティアてまり

2004年に発足。府中市点字講習会の修了生有志が会員となり、点訳(書籍・各種チラシやプログラム・家電などの取扱説明書・図書館のCDラベルなど)、市内小学校の総合授業で点字体験、イベントへの参加など、さまざまな活動を行っている。



てまりブラnetページ

点字器と点筆で手打ちしていた時代から、点字タイプライターを経て、現在は修正やデータの送付が容易なパソコン点訳が主流です。道具は変化してきましたが、根底にあるのは「つながりたい、つながたい」という想いではないでしょうか。みんなと、そして社会と。

変化するもの
しないもの

府中市市民活動センター プラッツ 登録団体紹介

ラジオでまちづくり実行委員会

コミュニティFMラジオ「ラジオフューズ87.4MHz」の開局と同時に、ラジオ番組を活用したコーディネートの実践活動を、「つなぎずと養成講座」2期生、7名のメンバーでスタートしました。

毎週月曜日朝10時から放送のラジオ番組「ラジオでまちづくり」では毎回、市民活動団体の皆さんをゲストにお招きし、活動の内容をお伝えしています。昨年の番組制作回数は26回、出演団体は23団体でした。事前取材、台本作成、番組収録、パーソナリティー役も持ち回り。すべて自分たちの手作業で行なっています。

本番組収録時にお聴きした一言一句を大切に、市民活動や協働の魅力を多くの市民に伝えられるよう努力しています。また、市民活動団体だけでなく、企業やお店、行政の皆様にもご出演いただき、それぞれの仕事や役割への理解を深め、協働のきっかけとなればと思っています。



番組をご支援頂ける方、スポンサーを募集しています。

活動にご賛同頂ける方は、ホームページよりご連絡ください。



ラジオまちホームページ

「はがきで文字遊び」の会 府中

四季折々の感動や喜びを、一文字や、ごく短い言葉ではがきに託します。筆、墨、割り箸、絵の具、いろ紙などを使用してちょっとアートな気分を簡潔に表現することを楽しんでいるグループです。

「はがきで文字遊び」は八王子の書家、吉沢和子先生が考案されたもので2001年3月に発足しました。2008年11月「はがきで文字遊び」の会府中も誕生!現在のメンバーは50代~80代の10人です。上手下手より書く事を楽しんではがきで交流しています。今では、はがきが届くのを楽しみにされている方も多く、会員には励みになっています。折々に作品展や体験会等を行っていますが、一人でも多くの方に文字遊びを知っていただき、輪を広げていきたいです。

毎月 第2水曜日 10時~12時
片町文化センターにて活動



団体登録しませんか?

プラッツに市民活動団体登録をすると、団体活動スペースの予約利用や印刷室、各種貸出機材の活用、さらにWebやSNS等での情報発信、各種イベントへの出展など、活動を広げるチャンスがたくさんあります。府中を拠点に、地域や社会のためになる団体活動を展開している皆さまは、プラッツ総合受付にお越しください。ご登録お待ちしております。

団体登録情報は
こちらから



※詳細はホームページをご覧ください。

2020

プラッツつながりカレンダー



7月

- 1 (水)～31 (金) プラッツ開館3周年記念事業
- 9 (木) 府中市民協働まつり企画委員会

8月

- 20 (木) 府中市民協働まつり企画委員会
- 22 (土) みんなら
～シアワセ・デザイン会議～

9月

- 3 (木) 府中市民協働まつり企画委員会
- 5 (土)・20 (日)・21 (月) 府中ミライ会議
- 6 (日) みんなら～シアワセ・デザイン会議～
- 10 (木) 府中市民協働まつり実行委員会
- 12 (土) つなぎすと実践塾マッチング
- 18・25 (金) 入門講座 - ライター講座 -
- 19 (土) みんなら～シアワセ・デザイン会議～
- 23・30 (水) 専門講座 - 助成金の活用 -

ほぼ毎月開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、プラッツではフリースペースの解放やイベントの開催自粛を行なっております。下記につきましても、開催の目処が立つまでは中止とさせていただきます。

- | | | | |
|--------------|-------------------------------|---------|--------------------|
| ときどき | 遊び場ぶらっと
(コミュニケーション&ボードゲーム) | 毎週月曜日 | 勉強カフェ |
| ときどき | プラつとカフェ | 1.3 水曜日 | キッズスペースミニイベント |
| 毎2日曜日 | 若いぼくらにできるコト | 毎週木曜日 | 絵本の修理 |
| 偶数月
第3金曜日 | | 月2回 | しごとバー府中
プラッツ相談所 |

プラッツ よもやま情報

※詳細はプラッツホームページをご覧ください

市民活動専門講座5・6 - 助成金の活用 -

助成金の全体像と基本を知ること。次に活用という視点で助成金の可能性について学びます。助成金は、成果を出すことを助けるお金です。団体、受益者、地域、社会等にどういった波及効果を生み出すのか、明確にイメージし、活用していくことを目指します。

日時: 9/23(水)・9/30(水) 19:00～21:30

(全2回各回1,000円)

講師: 山田泰久さん (非営利組織評価センター 業務執行理事)

定員: 30名

『世の中のために何かをしたい……』

NPO・ソーシャルビジネス個別相談

解決することが難しい社会の課題に対して「何とかしたい……」と悩んでいる人たちと、その道に詳しいプロフェッショナルをつなぎます。

- ① 相談内容に合った専門家とマンツーマン
- ② 好きな日時を希望できる
- ③ 相談無料(1回1時間)

編集後記

人との接触を減らすため、今回の登録団体の取材は対面ではなく、メールや電話でやり取りして記事をまとめ、編集会議もオンラインという方法での発行となりました。「日常」を取り戻しつつ、様々なことを乗り越えたからこそ得られた「新しい生活様式」を取り入れて、プラッツも動き始めました。訪れる人が安心して使える場所にするために共に協力をよろしくお願い致します。

2020年7月1日 kokoiko第13号

発行責任者 館長 吉田恭子

©2017 府中市市民活動センター運営グループ



プラッツHP

3周年記念事業 - これからもつながるプラッツ -

7/1(水)～7/31(金) 3周年特設サイトにて実施!

プラッツ七不思議クイズ、フローチャートによるあなたにピッタリな活動さがし、団体提供の動画紹介、プロ劇団の動画提供など、楽しい企画がもりもりです。

紙の冊子やITガイドもあります! お楽しみください!!



家から出ずに
想像力で無限の旅へ

presented by
to R mansion



動画で楽しもう!

府中でつくる世界地図



3周年特設サイト

市民活動入門講座 市民ライター講座 スタート

書くことに興味がある方!自分の得意を活かして地域活動参加のきっかけにしませんか。

この講座では、ライターに必要な(視点・取材のしかた・文章の書き方)をローカルメディアを運営してきたプロに基礎から学びます。取材して書いた記事はプラッツ情報紙kokoikoやホームページに掲載する予定です。

日時: 初回9/18(金) 10:00～12:00 (全6回 3,000円)

講師: 北原まどかさん (特定非営利活動法人森ノオト理事長)

定員: 12名

託児付き (先着4名)

※ただし、社会状況により

お受けできなくなる場合があることをご了承ください



府中市市民活動センター プラッツ

TEL 042-319-9703 / FAX 042-319-9714

MAIL info@fuchu-platz.jp http://www.fuchu-platz.jp/

〒183-0023 東京都府中市宮町1-100 ル・シーニユ5、6階
(京王線「府中駅」南口直結)

